

平成25年7月25日開催 県政ランチミーティングに寄せられたご意見への対応状況について

1 開催概要

- ・開催日 平成25年7月25日（木） 午前11時から午前12時まで
- ・会場 東筑摩郡朝日村「せせらぎの館」
- ・参加グループ 森林整備ボランティア団体「一期会」
- ・懇談内容『里山の整備や間伐材の有効利活用について』

2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

(1) 若者の林業への参加について

(ご意見の概要)

- ・若い人が講座とか産業に入りにくい環境にある。若い人が林業に興味を持てば、若い人のパワーでいろいろな活動ができると思う。ぜひ若い人が参入できる仕組みづくりをお願いしたい。

(ご意見等に対する対応状況)

- ・各地の林業研究グループが、地元の高校生や児童の森林・林業体験活動に取り組んでおり、県は、各地方事務所の林業普及指導員が企画段階で参画したり、実施にあたっての技術的な助言・指導を行っています。
また、企業等の社会貢献活動を通じた森林づくりによる地域活動を仲立ちする「森林(もり)の里親促進事業」を通じて、企業の若手社員や一般公募の若者の参加を促進しています。
- ・若年就業者の直接的な支援としては、求職者への就職説明会の開催、林業就業希望者への支援講習、トライアル雇用等に必要な経費の事業体への助成制度があります。
また、就業準備及び研修参加に必要な資金を無利子で貸し付ける事業や、林業への就業に向けて林業大学校等において必要な知識の習得等を行う若者対して、安心して専念できるよう生活維持のための資金を給付する事業を実施しています。

【担当課：林務部信州の木振興課】

(2) 県産材の流通、活用について

(ご意見の概要)

- ・県産材を使いたいと思ってもどこに売っているかわからず、使うことができない。ホームセンター等で売っていたら、一般の方で日曜大工をしたい方たちも活用できるのではないか。
- ・村内に木材会社・製材会社、工場がなく、木材加工をできる環境がない。

(知事の発言)

- ・今では県産材を少しは店に置いてもらえるようになったが、きちんと通常の仕組みで流通するようになってもらわないといけないと思う。
- ・丸太で売るより加工した方が付加価値が付くと思うが、机や椅子みたいにして売るとした場合、それも売る場所はないのか。

(ご意見等に対する対応状況)

- ・日曜大工の原材料としての県産材は、県内の一部のホームセンターにおいて購入可能ですが、店舗数の拡大に加え、日常的に県民の皆様が購入できる仕組みを検討してまいります。
製材や木材の加工については、隣接する市町村の木材加工施設をご利用いただきたいと思います。

【担当課：林務部県産材利用推進室】

(3) 信州F・POWERプロジェクトについて

(ご意見の概要)

- ・ 信州F・POWERプロジェクトにおいて、大きな事業体だけが山に入り、木を持っていくのではなく、山主さんが自分で切った木を載せて持って行って、それがわずかでもお金になればよい。

(知事の発言)

- ・ 信州F・POWERプロジェクトについては長野県としても力を入れて取り組むべきだと思う。

しかし、一極拠点集中巨大プロジェクト主義になっているので、プロジェクトを核にそれぞれの地域の森林経営なり林業なりが一緒になって元気になる仕組みにしていけないといけないと思う。そういう意味ではそれなりの価格で木も買ってもらうようにしないといけないと思う。

(ご意見等に対する対応状況)

- ・ 信州F・POWERプロジェクトは、集中型の木材加工施設及び木質バイオマス発電施設への素材の安定供給が課題であることから、意欲のある森林所有者が生産する素材についても、効率よく運搬する仕組みづくりを進めながら、積極的に受け入れるよう事業主体に働きかけてまいります。また、塩尻市では、行政と地域、森林所有者が一体となって素材の搬出を進める組織ができたことから、こうした取組みを拡げてまいります。
- ・ 信州F・POWERプロジェクトにおいて活用する素材の安定供給に向けて、効率よく搬出する仕組みづくりに取り組んでまいります。

【担当課：林務部県産材利用推進室】

3 問合せ先

総務部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp